

生き残りを
かけた勝負の年

年末商戦は
この商材で
挑め!

データリクエスト

“行列ができない” 抽選機 迅速、簡単で多彩な新機能搭載

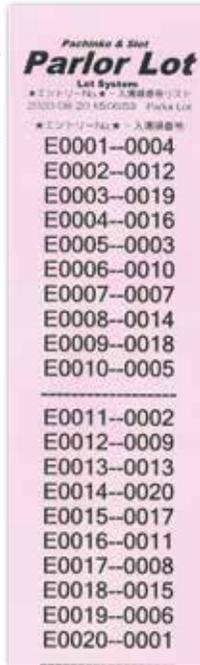
入場整理券・発券機「Parlor Lot 2020年モデル-TE」



2台の高速プリンター、専用ケース付き。奇数・偶数番号のみの発券や複数台の同期なども可能だ

左が抽選順と入場順を併記、試験の合格発表を彷彿させる「一括抽選システム」。右が顔写真付き抽選券（エントリー券）

最大10機種の個別新台発券、翌日・翌日以降の新台抽選、アンケートなど、ホールの用途に応じた全20種の方法を用意



開店を待つファンにストレスを与えないことは、ホールにとって最も大事な作業の一つ。3密をつくらないためにも、入場抽選は、これまで以上に素早く、正確にこなしたいものだ。それを実現してくれるのが、データリクエストの情報端末・発券機「Parlor Lot」(パラローロット) 2020年モデル-TEだ。

2009年登場以来、約3500台の導入実績がある「Parlor Lot」の長所である、タッチパネル式の操作性や、不意にシャットダウンしても続きから再発券できる性能は、もちろん踏襲。では、何がバージョンアップしたのか。

まずは発券速度。前機の1秒250mmから、350mmに。タイムラグも少なく、体感的にはほぼ倍にスピードアップしている点は特筆に与するだろう。

加えて、据え付けのタブレットもスタッフが操作しやすいよう、角度の調整が可能に。

ソフト面にも、新機能を搭載。その一つが、「一括抽選システム」。これは、抽選時の並びを不要にするもの。来た順に番号の付いた整理券を配布し、後に入場順の抽選を一発で行う仕組みだ。

抽選結果は、まとめて(1枚50人ずつ)プリントアウトしたり、ウェブ上で表示したりすることが可能。ファンは、抽選券にプリントされた、QRコードを読むことで、スマホなどからも入場順を確認

認できる。

もう一つが、「抽選を待つファンをカウントし、抽選券の発行枚数を設定する」という作業を省く、「随時抽選機能」。

これは、予め設定した数を上回る抽選が行われそうになると、自動的に抽選枚数を増やしていく機能。抽選待ちの人数を確認する工程を省けるため、この方式も行列の発生を防げる。

「いい順番を求めて、複数回抽選を行う不正利用者が現れるのでは？」といった心配は無用。写真撮影&顔写真印刷機能も安価なオプションで用意しているので、簡単に視認できる。

同社の野口豊社長も、「素早く、アクシデントに強く、その上で『ウィズコロナ』での運用に即した抽選機。『Parlor Lot』導入後、『こんな抽選はできないか』『こういう機能がほしい』といったリクエストに応じて追加してきた機能を、ひとまとめにしました」と自信を見せる。

また、「7日、1カ月、6カ月、12カ月と、期間を細かく区切ったレンタルプランを用意しているのので、試験導入やオープン時などの繁忙期だけ使いたい場合も、ご相談いただければ」とも。

なお、同社では、目視や顔認証に頼らない個人認証を可能としたハイエンド機も開発中だとか。興味があれば、あわせて問い合わせてみてはいかがだろうか。